

## 会議録

1 附属機関の名称

犬山市史編さん委員会（専門部会）

2 開催日時

令和5年6月11日（日） 午前10時00分から正午まで

3 開催場所

犬山市文化史料館南館（IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房）2階作業室

4 出席した者の氏名

（1）委員

（専門部会委員）羽賀祥二、佐々木重洋、岡本耕平、可児光生、笈真理子、中野裕子

（調査執筆委員・調査協力員）久保正明、関口哲矢、山中海瑠、永田幸枝、望月友恵、大島敏裕、井上宗一郎、後藤真司、長岡昭雄、富樫幸一

（2）執行機関

（歴史まちづくり課）加藤課長、市野統括主査、鈴木、河寄、河合

5 議題

（1）資料編の構成・内容について

（2）資料編の編集について

6 傍聴人の数

0人

7 内容

1. 開会

2. 議題

（1）資料編の構成・内容について

【地理班】

委員：「東部丘陵の開発と環境」は節として扱うことにした。また「近隣自治体との交流・連携」として木曾川流域圏／各務原市の交流、木曾川学の動きも大きく取り上げる予定。本日提示した目次構成案のエクセル表は、まだ統一ルールでの入力できていない。

委員：木曾川学は編さん中の各務原市史でも調べている。可児委員とうまく連携したい。また、刊行の終わった岐阜市史の経験から、紙資料の扱い、サイズの大きい統計・資料の扱い、

資料の保存・散逸防止／公文書管理／情報公開の一体的な取り組みが課題かと思う。

委員：平成年間における市内製造業の動きを調べている。統計を取ってデータをまとめる以外に、必要があれば企業への聞き取りも行っていく。前任の委員から引き継いだ資料も活用していく。

#### 【観光・文化班】

委員：5月専門部会を踏まえ、観光に関する情報発信（SNSなど）、市の文化財担当組織の変遷などを入れて肉付けした。現時点では地理班のような進捗には至っていない。

#### 【民俗班】

委員：市役所の事務室・書庫内を悉皆調査し、資料をリスト化した。車山の組み立て／解体の映像は、各町内に残っていると思う。市史付録の映像として何をどんな長さで入れられそうか、今後検証していく。川祭に関しては映像がなく、写真のみとなる。

委員：神社の祭礼関連では由来、運営、参加者、祭具に関する資料を検討している。本来の意味や格式を守ろう、変えずに存続させよう、付加価値を付けて魅力を向上させようという担い手の想いが感じられる。個人情報の取り扱い、扱う分量の調整が課題。

委員：平成間には保存会の皆さんが自分たちの祭礼を記録に残そうとする動きが盛んだった。資料は豊富にあるので、何をどのように載せるか、どう見せるかが課題。動画で入れた内容も多いので、当班としては紙資料のページ数を減らしてでも動画の分量が多くほしい。

部会長：祭礼の継承用に撮った映像は、現在は一般公開しているのか。

事務局：一般普及用に編集した映像は文化史料館南館やどんでん館の入館者向けに流しているが、内部向けに撮ったものは一般公開していない。

委員：車山の組み立て／解体を4年おきにやる町内もあり、市史の刊行に合わせて撮影するのは難しい。

委員：他班でデータ収録の候補となるのは、地理班の地図・統計、観光・文化班のポスター・CM映像か。予算の問題もある。市史付録としては限定した映像とし、市史編さん事業の終了後にDVDブック刊行、市HP／文化史料館での公開など選択肢はある。引き続き議論が必要。

事務局：市史本体のデジタル化・一般公開に関しては、市史刊行後（令和9年度以降）の事業として想定している。

委員：デジタル化など次段階の計画があるのならば、それを踏まえたうえで市史データを整理していく必要がある。

\* \* \*

委員：行政資料の保存年限が問題になっている。現在ある資料もいずれ処分されるのか。

事務局：保存年限のルールに沿って処理している。30年の保存年限が来たときに歴史的公文書として残すかどうかを1件ずつ判断しており、必ずしも廃棄処分となるわけではない。残す判断がなされたものは、書庫の部署別エリアに収めている。リストとして検索も可能。

委員：岐阜市では、庁内の組織変更で資料の行き場がわからなくなったケース、庁舎建て替えの際に処分されたケースがあった。専用の保存場所、専任の管理者がないと難しい。市

史編さんと併せて文書保存の体制を作れるとよい。複写やデータであっても、市史編さんリストにある資料は一箇所にまとめておくべき。元の部署に返すと散逸する。

委員：伊勢市の場合は、刊行済み市史の調査資料がすべて図書館に収められていた。散逸も防げるし、記述の基となった資料にすぐたどり着ける。現代はデジタルデータで残すほうが現実的かもしれない。

委員：現在、コピーも含めて雑多な資料を集めている。刊行後、掲載できなかった資料も含めてすべて事務局に預けることにはなるか。それが決まっているかどうかで資料のまとめ方の意識がかなり変わってくる。

事務局：掲載採否ランクが低い資料、返却が必要な資料についての対応を検討する。

部会長：第3～5次総合計画と対照すると、目次構成として漏れている項目がある。福祉分野は歴史班の岡調査執筆委員が調査中。

委員：下水道は地理班の防災分野か。東海豪雨の頃から内水氾濫の問題が起きている。

部会長：市民の芸術・文化は歴史班で扱い方を検討する。

部会長：複数の班で重複する項目について。全市博物館構想については観光・文化班の望月調査執筆委員が担当し、犬山の学術に関する章・節に組み込むと良さそう。愛知万博は歴史班の行財政分野、地理班の環境分野、観光・文化班で各分野に特化して扱う。

委員：ボランティア団体については、歴史班の市民活動分野と観光・文化班ですみ分けができると思う。国際観光、国際交流については調整が必要か。

委員：城下町整備は、資料編では地理班で取り上げていただいて構わない。観光・文化班は通史編で詳しく取り上げる。空き家・空き店舗の利用は、全市的／一般的には地理班、城下町地区は観光・文化班で扱うということでよいか。

委員：京大霊長類研究所、東大演習林は地理班・環境分野で項目として挙げたが、歴史班・学術交流の項目で担当していただいて構わない。

部会長：現時点では地理班・可児委員の作業が最も進んだ段階。掲載採否ランク「A」「B」の翻刻作業とページ数の割り出しを詰めていけば資料編の原稿、通史編の構想もできていく。9月の拡大専門部会では、各班が仕上げてきた表を基に全体の項目を決定したい。

## (2) 資料編の編集について

部会長：『愛知県史 現代』と『新修豊田市史 現代』を比べると、資料番号の付け方、資料を紹介するタイトルの形式や出典の日付の入れ方に違いがある。

委員：『愛知県史』の日付の入れ方は分かりにくい。『新修豊田市史』の方式がよいのではないか。

委員：資料が新聞記事ならば「〇月〇日朝刊」、広報ならば「広報〇月〇日号」とした方が分かりやすい。

部会長：タイトルの形式は統一するか。「～を求める請願」ではなく「～を求める請願が出される」という形にするのが市民に対するサービスだ、という考え方もある。

委員：形式は統一した方が読みやすい。

部会長：9月以降、編集が本格化した際に決めるものとする。

委員：年号の入れ方はどうするか。和暦・西暦の併記は必須か。文章中は併記でよいが、表・グラフや地図内は西暦のみが一般的。『新修豊田市史』の表も西暦のみ。

部会長：和暦が重要なのは古代・中世～近世の話で、西暦のみでよいのでは。不具合がなければ執筆要領を変えても構わない。新聞や行政文書はどうなっているか。

事務局：現在の新聞は「西暦（和暦）」の形式。行政文書は和暦のみ、長期間にわたる総合計画などは、元号変更を見越して「和暦（西暦）」としている。当初は資料編も縦組みの想定で執筆要領を「和暦（西暦）」としていたが、その後資料編は横組みに変更となった。

委員：横組みに変えたのであれば年号の入れ方も変わってくる。

部会長：原則は西暦とし、必要に応じて和暦を併記するという案でどうか。

事務局：出典、引用部分の表記は原資料に合わせ、その他は西暦で統一となるか。

部会長：原稿チェック、図表の作成などの作業は業者に委託できる契約となるか。

事務局：一貫したチェックが必要になるため目下、勘案中である。

部会長：あと半年で原稿を揃えることになる。一挙にはまとまらないので、節ごとに渡す流れか。

事務局：章ごとであれば理想だが、できたものから順次いただければ早めに作業できる。

委員：『岐阜市史』では、InDesignでの編集作業（組版）を事務局側で行ったうえで印刷業者に入稿した。印刷業者で組版をすると必ずズレが生じる。地図やグラフを入れる場合、実際にレイアウトしてみないとどのくらいの文字数が入るか把握できない。

委員：資料編に年表を付けられないか。目次・索引とは別に、年代・出来事と資料が紐づけできるものがあるとよいと思う。

部会長：通史編を作らないと年表はできないのではないか。

委員：年次別資料一覧ということか。

委員：それも編集の過程で業者に委託できるのではないか。

委員：広報いぬやまについて、平成初期はデジタルデータが存在しないとのことだが、委託先の印刷業者からデータをもらえないか調べてほしい。

事務局：一度、確認する。

事務局：執筆謝礼は完成原稿のページ数から割り出すため、令和6年度の支払いとなる。今年度は活動報告をする際に、調査と執筆を分けて計上してほしい。

### (3) その他

- ・ 次回の専門部会の詳細は改めて連絡する。[9月18日（祝）～24日（日）で調整]